

いやす 農漁村空間 八重山

MAP



八重山群島は、沖縄本島から南へ412kmの海上に点在し、石垣市、竹富町、与那国町からなり、日本最南端の波照間島、日本最西端・国境の島、与那国島、天然記念物のイリオモテヤマネコが生息する西表島を初めとする18の離島からなる。

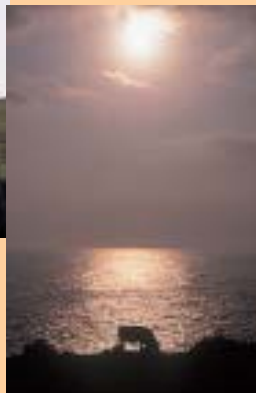
島々では、昔ながらの石垣とフクギ、赤瓦屋根の民家、咲き乱れる鮮やかな花々、静かなたたずまいと心穏やかな農村風景は、かつての沖縄の姿がそのまま残っている。その風景は郷愁を誘い、訪れる人の心を和ませる。また、肉用牛（繁殖牛）生産は沖縄県の約50%を占めており、車を走らせると、青い海と緑の牧歌的風景があちこちで見られる。その自然の中で育つ牛たちもゆったりと時間の流れのを楽しむように。物の豊かさよりも、心の豊かさを充実させたいと願うみなさん！南国八重山で、風光明媚かつダイナミックな自然景観の中で、心静かな癒し空間を楽しんでみてはいかが？

八重山地区



【与那国島の東崎牧場】

島の東端、断崖と草原の景勝地。荒々しい海の表情とは違って、なだらかな草原には、のんびりと草をはむ天然記念物の在来与那国馬（農耕馬として使われてきた）が農耕馬の役目から解放されて、牛とともに放牧されている。（与那国町）



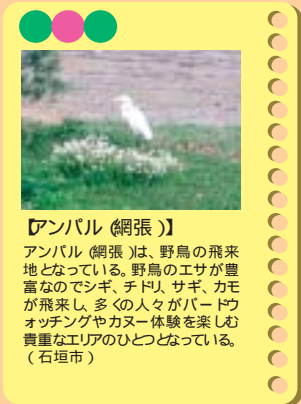
【夕日と牛】

海に沈みゆく夕日、雄大な景色が明日への活力を生み出してくれる。日本最西端の与那国島、晴れた日には異国の台湾が見える。（与那国町）

「憩える 農村と自然」

むらを歩くと誰でも幼かった頃の自分を思い出すのではないのでしょうか。たとえそこが他の村でも、自分の村と重なり心とませでれる。

【黒島東筋集落景観】
竹富町黒島の東筋（あがりすじ）の道は昭和61年に日本の道百選に選ばれた。サンゴ礁の石垣と赤瓦の屋根は古き良き沖縄の風景そのもの。（竹富町）



【アンバル（網張）】

アンバル（網張）は、野鳥の飛来地となっている。野鳥のエサが豊富なのでシギ、チドリ、サギ、カモが飛来し、多くの人々がバードウォッチングやカヌー体験を楽しむ貴重なエリアのひとつとなっている。（石垣市）



【西表島の仲間川】

西表島は沖縄本島に次ぐ大きな島で、東洋のアマゾンとも呼ばれ、仲間川や浦内川の河口流域には、我が国最大のマングローブ林が広がっている。島のほぼ全域が手つかずのジャングルで自然の宝庫でもある。エコツアー、カヌーツアーも体験できる。（竹富町西表）

【波照間島のフクギ】

沖縄の人の心のふるさどがある。台風対策として植えられたフクギは、火災にも強く樹皮は沖縄の伝統織物の染色に使われている。（竹富町波照間）



壮大な景勝地。

透きとおる珊瑚礁の海と、そよ風揺れる牧草の彼方に見えるばいぬ島（南の島）。沖縄の原風景がここにありまます。牛もゆったり暮らしています。雲ものんびり流れています。あなたもこのんびりと癒し空間を楽しんでみませんか？

【水田の風景】

暖かい八重山地域の水田風景、県内で60%の生産量を占める。山々からの豊かな水と太陽の恵み年2回収穫ができる。日本列島の田植えは、八重山からはじまる。（与那国町）

コラム

【水牛としらぎ】

水牛とたわむれるしらぎ、一瞬時間が止まったかのような感覚をおぼえる。島を訪れる観光客の心をいやす、グリーンツーリズムの一躍を担っている。（竹富町西表島）



【南国の牧歌風景（牧場の風景）】

北海道を思わせる雄大な牧場、県全体の約半数を占める肉用牛の生産は八重山農業の大きな柱である。広々とした牧場で南の太陽をいっぱい浴び、健康的に育った石垣牛の味もまた格別！（石垣市）

